

特集「若者よ、地域へ行こう」

人口減社会、少子高齢化時代を迎え、いわゆる「限界集落」という言葉も注目を集めるようになった中で、「都市と農村」の交流による地域づくりの重要性が増してきている。

さまざまな都市と農村の交流方法がある中で、「どうしたら都市にいる若者と農村とを交流させることができるのか」ということを考えたとき、都市から農村に若者を定期的に「派遣すること、言い換えれば「都市の若者を地域のコミュニティーにひきずりこむこと」からはじめたら、あらたな地域づくりの可能性を模索できるのではないか」という考えが浮かんだ。

そこで、今回の特集では「若者を地域に派遣する方法」のひとつとして、大学などで行われている「インターンシップ」の制度を、地域づくり活動や地場産業の活性化に有効活用している事例を紹介することとした。

インターンシップとは、学生が企業や官公庁などで一定期間、研修生や実習生として働く制度である。

つまり、今回の特集の主人公は「学生」という大学が持っている人的資源であり、地域は学生をどのように有効に活用して地域づくりへつなげていくかということでもある。

今回の「舞とうん」では、大学の地域貢献という観点も含めた形で「インターンシップがもつ地域づくりへの可能性」について模索してみた。 (研究員 谷本英樹)

■表紙のことは

肱川支流の小田川は、かつて林業が盛んなところであった。

当然道路の発達していない時代、川を利用して木材を運搬するときに筏が使われ、2日間かけて川登地区から長浜河口の木材場へ流されていた。

昭和24年を最後に筏流しは途絶えたが、川登自治会が後世に地域の文化を伝えようと、「川まつり筏流し」として平成5年に復活させた。



毎年4月の「川まつり」では昭和の風景が1.6キロにわたって再現。私も足腰の利く間に、この筏流しに参加して、川のすばらしさと一緒に体験してみたいものです。

柳原あや子

●アンゲル

私がIターンでなくなる日 1
財団法人松下政経塾第26期生/兼頭 一司

●特集/若者よ、地域へ行こう

若者と地域を結ぶ長期インターンシップの可能性 2
NPO法人Eyes 代表理事/横山 史

インタビュー①

インターンシップを受け入れた企業の変容 4
インターンシップ生は職場の雰囲気を変えてくれる
今治市 株式会社オサム 代表取締役/平林 元樹

地域づくりのためのインターンシップ制度活用 6
NPO法人アジア・フィルム・ネットワーク 代表理事/福岡 晋也

インターンシップで地域が燃える 8
おむすび会 メンバー/森本 純一

若者をつくる、日本の未来 10
—いなかインターンシップの挑戦—
南の風社 編集部/宮脇 綾子

学生と地域を結ぶきっかけづくりを 12
「地域づくりインターンの会」
地域づくりインターンの会 事務局/川見 亮介

インタビュー②

インターンシップを経験した学生の地域づくりとの関わり 14
「地域づくり」のありか
西予市 地域協同組合無茶々園 元事務局員/上原 佑貴

●論壇—まちづくり—

協働型インターンシップが人と地域を活かす 16
高知大学人文学部教授/池田 啓実

●キラリ光るまち/山梨県早川町

学生が関わるまちづくり 18
NPO法人日本上流文化圏研究所 研究員/柴田 彩子

●特選ブログ/shin 1さんの日記

まちに若い新しい風を吹かそう 20
人間牧場主/若松 進一

●MY TOWN うおっちゃんぐ

「駕籠のある兵頭家長屋門」四国最西端の庄屋建築 22
タウンツーリズム講座主宰/岡崎 直司

●トークナウ

人の元気をまちの元気につなげる 24
YGP(八幡浜元気プロジェクト) リーダー/浜田 規史

●Information

センターからのお知らせ 26
愛媛大会実行委員会ニュース 27
財団法人愛媛県市町振興協会 28

●Book information